

公益財団法人 浜松市文化振興財団

平成 26 年度 事業計画

平成 26 年度 収支予算

1 平成26年度 事業計画

【事業計画概要】

① 法人経営について

■公益目的事業の再編

昨年12月に実施されました公益認定官庁である静岡県による立入検査において、現在3つに区分して実施しております公益目的事業について、再編(1本化)をご提案いただきました。

現在再編について静岡県と協議し、3月に開催されます公益認定等委員会での審議事項として上程の手続きを進めております。

あわせて、立入検査において数点の指摘事項を頂戴しております。いずれも軽微なものではありますが、こちらにも対応してまいります。

② 文化事業の実施について

■世界青少年音楽祭の開催

世界各国から優秀な青少年音楽団体を招聘、音楽文化を通じて市民、特に青少年との交流、国際友好親善を図る事業「世界青少年音楽祭」を浜松市と共催で開催します。浜北区や天竜区を含む市内各所でのサテライトコンサートや友好都市コンサートを開催し、音楽分野におけるユネスコ創造都市ネットワーク加盟を推進する事業として実施してまいります。

■中間支援機能の強化

昨年に引き続き実施する新東名浜松 SA「ネオパーサ浜松」内に設置されたミュージックスポット運営事業に加え、浜名湖花博2014の会場(浜名湖ガーデンパーク、浜松市フラワーパーク)での演奏会支援事業を実施します。学校、介護施設、商業施設等をあわせて通年で約250回のコンサートを実施する予定です。

また、平成25年度からスタートした寄附制度を活用した地域への文化貢献事業を実施します。

③ 所管施設の運営及び附帯ソフト事業の展開について

■新たな指定管理期間のスタート

平成25年度をもってアクティ浜松、クリエート浜松、浜松市浜北文化センター、浜松市楽器博物館が指定管理期間の更新年となり、平成26年度より新たな指定管理期間がスタートします。

また中心市街地活性化事業が新たな役割として追加された浜松子ども館については、浜松まちなかマネジメント株式会社との共同事業体として引き続き運営をしてまいります。

一方、これまで株式会社日本シアタサービスとの共同事業体として運営をおこなってまいりました、浜松市天竜壬生ホールからは撤退、また浜松市浜北文化センターと一括管理をおこなっていた浜松市森岡の家については施設廃止予定ということで指定管理公募対象から外れました。

これによりまして、平成26年度はあわせて10施設の管理運営をおこなってまいります。

I 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承

1 芸術文化公演の企画、運営及び提供

(1) 平成 26 年度 芸術文化公演(鑑賞型事業)

本年度はアクティシティ浜松が開館 20 周年を迎えることから、すべての人が文化の恩恵を受け心豊かな生活が送れるよう、お客様の多様化する要望にお応えすべく、「次の 20 年」に繋がる多種多様な公演を企画・実施します。上記をふまえ、本年度は芸術文化活動に必要な「継続性」を特に意識し、従来事業を発展させた企画や、過去に評判の高かった人気公演の再上演等を取り揃えます。

◎気軽に音楽に親しむ

2 年目となる「ワンコインコンサート」は、お昼のひと時に 1 時間の気軽なコンサートを提供し、日々の生活の中に音楽や芸術文化を取り入れていただく事を目標としています。また平成 7 年から継続開催している、才能ある若手アーティストを紹介する「アクト・ニューアーティスト・シリーズ」は、間もなく 100 回目に到達。手軽なチケット料金で若い才能を楽しむことができる機会として好評を博しています。

◎良質な舞台芸術

浜松では当財団が唯一継続して開催している海外オペラ劇場・バレエ団の引っ越し公演、海外オーケストラ、日本を代表するピアニストの公演を開催。その他、毎回チケットが完売となるエンターテインメントの最高峰「ブラスト！」や、往年のファン待望の楽団などクラシック音楽・舞台以外にも良質な芸術文化公演の開催を予定しています。

◎伝統芸能事業

日本の伝統芸能を楽しんでいただく、「歌舞伎」「能と狂言」を開催、魅力をわかりやすくお伝えする講座も合わせて実施し、伝統芸能の魅力をお伝えします。能と狂言は野村萬斎の主演・演出で、音と映像を駆使した当財団オリジナルの新しい世界をご覧ください。

◎親子で楽しむ

平成 25 年度に当財団オリジナル企画として開催した「絵本と音楽の世界」を引き続き開催します。この他にも子ども向け公演を開催し、親子で芸術文化公演を楽しむ機会を提供します。

事業名	会場	開催予定日	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ (クラシック界注目の若手演奏家によるアクティシティ独自のシリーズ企画)			
No.93 上野通明 (チェロ)	アクティシティ浜松 音楽工房ホール	5/25	09年若い音楽家のためのチャイコフスキーコンクールで日本人初の優勝を果たした新星。
No.94 上野耕平 (サクソフォン)		7/13	11年日本管打楽器コンクールサクソフォン部門史上最年少優勝者。浜松国際管楽器アカデミー第20回大会を記念して開催。
No.95 長尾春花 (ヴァイオリン)		9/21	ロン＝ティボー国際、仙台国際コンクール上位入賞。掛川市出身。静岡県文化奨励賞受賞。
No.96 カラフル・クラシックス (クラリネット 5 重奏)		12/14	08年クラリネットアンサンブルコンクール優勝。
No.97 ディナーラ・クリントン (ピアノ)		2/15	第6回浜松国際ピアノコンクール奨励賞、13年パデレフスキ国際ピアノコンクール第2位受賞。
ワンコインコンサート(5 回公演)	アクティシティ浜松 中ホール	年 5 回	平日ランチタイムを活用した1時間程の500円ミニコンサート。クラシックの垣根を下げ、音楽人口を増やすことと、昼時の街中の活性化をめざす。N響や京都市響のアンサンブルや夏休みの子ども向けコンサートを実施。

事業名	会場	開催予定日	内容
須川展也 デビュー30周年記念コンサート in 浜松	アクティシティ浜松 中ホール	4/5	浜松出身で世界的サクソフォーン奏者須川展也の30周年記念コンサート。小柳美奈子、ヤマハ吹奏楽団と共演。 共催:コンサートイマジジ(マネジメント共催事業)
藤原真理 チェロ・リサイタル	アクティシティ浜松 中ホール	4/18	NHK「八重の桜」エンディングテーマを協演した藤原真理が同作品や「チェロ・語り・ピアノのためのゼロ弾きのゴージュ」などを演奏。 倉戸テル、佐山真知子らと共演。
ディズニー・ライブ！ ミッキーのザ☆マジックショー (3回公演)	アクティシティ浜松 大ホール※	4/22	ディズニーキャラクターたちがマジックショーを繰り広げるエンターテイメントショー。親子で楽しむことができる企画。 共催:静岡第一テレビ(マネジメント共催事業)
松竹大歌舞伎 (2回公演)	アクティシティ浜松 大ホール※	6/5	恒例の松竹大歌舞伎浜松公演。市川右近、市川猿之助他、開館20周年にふさわしい豪華演者陣が出演。
スロヴェニア マリボール国立歌劇場オペラ 「カルメン」	アクティシティ浜松 大ホール※	6/25	名門歌劇場による引越し公演。海外歌劇場の本格的なオペラは、当財団のみが浜松地域で継続して実施。 特別協賛:中部ガスSala
辻井伸行プレミアムツアー	アクティシティ浜松 中ホール	6/28	ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにおいて日本人初優勝。今回は全国で厳選された音の良いホールのみで行うソロリサイタル。共催:インタースペース
第9回はましんファミリーコンサート	アクティシティ浜松 中ホール	7/27	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシックコンサート。演奏は浜松交響楽団。 共催:浜松信用金庫、浜松交響楽団、浜松市
サンリオ・ファミリークラシック 「リボンの国の音もたち」	アクティシティ浜松 大ホール※	8/11	サンリオキャラクターとプロの演奏家による親子のための音楽会。演奏会マナーのレクチャーも実施。 共催:テレビ静岡
ブラスト！ (2回公演)	アクティシティ浜松 大ホール	9/5 9/6	ブラス、パーカッション、ヴィジュアル・アンサンブルが魅せる超絶技巧と究極のアンサンブル。平成24年の浜松公演では発売2時間でチケットが完売した人気公演。 共催:静岡第一テレビ
ブロードウェイ・ミュージカル 「フットルース」	アクティシティ浜松 大ホール※	9/19	挿入歌の数々がヒット曲となった映画「フットルース」のミュージカル版。全国各都市を回るツアーの一環として、浜松公演を開催。 共催:静岡朝日テレビ
「絵本と音楽の世界Ⅱ」 読み聞かせ会	アクティシティ浜松 音楽工房ホール	9/27	絵本を投影し、朗読と演奏で物語を演出する当財団オリジナル企画。他市教育委員会でも開催が決まった浜松発信の企画。 朗読:松本志のぶ ハープ:彩愛鈴
ディズニー・オン・クラシック	アクティシティ浜松 大ホール	10/10	ディズニー映画などから生まれた名曲の数々をオーケストラで演奏。大人から子供まで気軽にオーケストラの演奏を楽しむことができる恒例のコンサート。 共催:K・mix、静岡第一テレビ
第23回ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクティシティ浜松 大ホール他	10/18 ～10/26	23年目を迎えるジャズ恒例イベント。学生バンドから世界的ミュージシャンの出演、そして浜松市がジャズ一色になるほど、数多くのイベントを開催。 主催:浜松市、ヤマハ、静岡新聞社
アイルランド・ケルト「アヌーナ」	アクティシティ浜松 中ホール	11/23	アイルランド・ケルトの遺産を受け継ぐ神秘のコーラスグループ。アイルランド聖歌から大衆的な伝統歌、オリジナル曲まで多彩なプログラムを展開。ケルト音楽は当財団初の企画。

事業名	会場	開催予定日	内容
ロシア国立ボリショイ・バレエ 「白鳥の湖」	アクティシティ浜松 大ホール	11/30	240年の歴史を刻むロシア名門バレエ団の引っ越し公演。平成6年のアクティシティ開館記念で上演されたときと同じバレエ団、演目で再上演。開館20周年にふさわし大型事業。
スロヴァキア国立放送交響楽団 &清塚信也	アクティシティ浜松 大ホール※	12/5	中欧を代表するスロヴァキア国立放送交響楽団にピアニスト清塚信也を迎えて、ベートーヴェン「皇帝」ほかを演奏。清塚信也は映画出演やTV出演などマルチに活躍するピアニスト。 共催:コンサート・ドアーズ
野村萬斎 能と狂言	アクティシティ浜松 大ホール※	12/13	音と映像で能・狂言をわかりやすく、そして楽しく演出する当財団オリジナルプログラム。平成23年に実施した演出をスケールアップ。また本公演をより楽しんでいただくため、前年度には演者によるレクチャーも開催。

※印 大ホール中規模(1・2階席)で開催

※開催を計画していた「ペレス・プラード楽団」(6月1日)は、指揮者兼楽団リーダーのヘスース・ガルニカ・マルティネス氏逝去に伴い、来日中止となりました。

2 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

出演アーティストへのインタビュー動画や記事などを積極的に活用し、文化の魅力を提供することに努めてまいります。また平成 23 年度より発行している文化情報誌「HCF News」も引き続き刊行し、地域で活動する文化団体の情報や、若い世代の活動紹介、文化と暮らす生活スタイルの提案ができる情報誌として編集、市内各所及び全国主要ホールへ配布します。

また、財団のホームページを活用し、財団事業だけでなく地域で活動する団体情報や当財団の後援・サポート事業の紹介など積極的な活動支援を実施します。

アクトシティの開館時に発足した友の会については、より充実したサービスを研究・導入し、会員数の安定を図るとともにさらなる顧客満足度の向上を目指します。

(1) アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

(2) 広報活動

- ① 財団ホームページの運営（<http://www.hcf.or.jp/>）
 - ・財団の事業及び所管施設を紹介、イベントカレンダー掲載、イベントブログ掲載等
 - ・SNS(facebook等)を活用した情報発信
 - ・浜松市内の文化イベント並びに文化団体の情報を幅広く収集するとともに市民に提供
- ② 情報誌「HCF News」発行(部数12,000部、年4回、平成26年2月末時点で第12号まで発行)
 - ・財団事業紹介、浜松市内で活動する文化団体の紹介、浜松市内の飲食店紹介等
- ③ 平成 25 年度事業活動報告書の発行、配布。活動紹介映像の制作及び web 上での公開。
- ④ デジタルサイネージの活用
 - ・アクトシティ内財団事務室、市民ロビー他での映像による事業広報
 - ・遠鉄VISION、駅ビル メイ・ワン レストラン街ロビーでの放映
- ⑤ 事業チラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体への掲出
- ⑥ アクトシティ浜松イベントカレンダー等の発行、配布(部数10,300部、隔月発行)
 - ・市内主要文化施設、公民館、ショップ等

(3) HCF オンラインショップの運営

チケットのほか、CD・DVD・書籍などをオンラインで販売

アクトシティチケットセンター、はまホールにチケット販売専用端末を設置

利用者のさらなる拡大を図り、平成 25 年度に利用方法等のページをリニューアル。平成 26 年度も引き続いて分かりやすい案内・表示を必要に応じて更新

- 【取扱商品】
- ・市内文化団体自主イベント、市内施設公演チケット、財団主催公演チケット
 - ・ピアノコンクール、バンド維新等の財団主催事業の関連製品(CD、楽譜)
 - ・浜松市楽器博物館製作の CD コレクション、DVD コレクション
 - ・浜松文芸館、木下恵介記念館出版書籍

(4) アクトシティ浜松 インフォメーション・チケットセンターの運営

3 芸術文化活動の支援及び交流の促進

文化団体による「市民文化フェスティバル」、演劇団体が一堂に会する「演劇・人形劇フェスティバル」、生涯学習音楽指導員を中心とした各種団体が参加する「和洋奏楽」など、地域で活動する団体の方々の交流を高める事業を開催します。

支援事業としては助成金制度であるサポート事業も引き続き行い、金銭面での支援のほか、財団 HP を活用した情報発信支援、チケット販売促進支援等、総合的な活動支援を行います。

また若手演奏家の活動支援として、新東名高速道路浜松 SA「ネオパーサ浜松」や大型商業施設、病院、介護施設、教育機関等におけるコンサートへの演奏者派遣を行います。

(1) 文化振興事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第45回日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/16～18	学校及び一般音楽指導者を対象とした講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。
第12回浜松市民文化フェスティバル	アクトシティ浜松 他市内諸施設	9～12月 (全11部門)	地元市民団体や学校による音楽・舞踊公演。連盟や協会所属団体や市民公募による出演枠を設ける。
第60回浜松市芸術祭 はままつ演劇・人形劇フェスティバル 2014	クリエート浜松 アクトシティ浜松 他	9～12月 (全20事業)	市内の劇団員、ボランティアスタッフが企画・運営に参画し、地元劇団の舞台公演を中心に、ワークショップや招聘公演を開催する。
子ども音楽フェスティバル	はまホール	12/14	子ども音楽セミナー受講生の演奏発表の機会を提供。生涯学習音楽指導員との連携により、市内高校生、大学生との共演を行う。
生涯学習事業「和洋奏楽」	アクトシティ浜松 中ホール他	2/15	財団事業と連携した音楽家や市民団体を集結し、出演者と世代やジャンルを超えた舞台を創る。全国発信を目的にオリジナル楽曲、舞台演出を作成し他地域へも提供。
バンド維新 2015 「レクチャーコンサート」「初演コンサート」	アクトシティ浜松 大・中ホール	3月	日本を代表する作曲家たちが、浜松の子どもたちのために吹奏楽曲を書き下ろし、世界初演を行う。
サポーターマネジメント	—	通年	財団事業を支援するボランティアスタッフの募集・育成マネジメント。
演奏家派遣事業	市内各所 市内小学校	通年	コンサートを主催したい施設の運営サポートを行うとともに、地域の演奏家に活動の場を提供。NPO法人「子どもに音楽を」と浜松市教育研究会との共催事業として弦楽器のプロ演奏家を市内小学校8校に派遣。

(2) はままつ文化サポート事業

地域の芸術文化活動の充実・活性化を目的とした市民のための文化活動支援制度。助成金の交付と広報活動、販売促進の支援等を行う。(助成限度額30万円)

4 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

浜松駅前の風物詩であるプロムナードコンサートや全国の優秀な高等学校が出演する吹奏楽大会、青少年育成の音楽団体育成事業であるジュニアオーケストラ・ジュニアクワイアの運営、交流都市間事業など浜松市からの受託、共催事業を継続して実施します。

音楽を通じた国際交流を行う浜松青少年音楽祭、平成 27 年度に予定されている市民オペラのプレイベントや、第 5 回目となることもミュージカルの脚本・作曲作業を進め、開催に向けての企画を進めます。

浜松国際ピアノコンクール事業においては、平成 27 年度の第 9 回コンクール開催に向けて、開催告知記者会見や出場者受付開始等、次回大会の渉外活動を本格的に開始します。

(1) パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催予定日	内容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	通年 (全4回程度)	アクトシティのパイプオルガンをより多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサート。
パイプを作ってみよう	アクトシティ浜松 中ホール	8月下旬	夏休みの小・中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成。
オルガンに触れてみよう	アクトシティ浜松 中ホール	11～12月	パイプオルガンを誰でも1フレーズ弾ける体験型事業。市民に気軽にオルガンに触れる機会を提供する。

(2) まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催予定日	内容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅前 北口広場「キタラ」	4～10月	浜松市内の学校及び一般の吹奏楽演奏団体が出演する無料イベント。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供。協力：浜松市吹奏楽連盟
出張プロムナードコンサート in 花博	浜名湖 ガーデンパーク	6/1	浜名湖花博 2014 のイベントの一環として開催。
まちかどコンサート	JR 浜松駅前 北口広場「キタラ」他	5～11月	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュース。合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する。

(3) ジュニアオーケストラ・ジュニアクワイア浜松運営事業

事業名	会場	開催予定日	内容
ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松育成事業			
団員募集・定期練習	市内諸施設	通年	団員の募集・育成・公演をマネジメント。音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成を目的とする。
第 20 回定期演奏会	アクトシティ浜松	9月	
スプリングコンサート 2015	大ホール	3月	
第 5 回子どもミュージカル準備事業	—	通年	平成 27 年度の第 5 回開催に向け、浜松オリジナルの脚本、作曲などの創作準備を行う。

(4) 浜松吹奏楽大会事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第19回浜松吹奏楽大会			
第3回全国中学生交流コンサート	アクティシティ浜松 中ホール	3/20	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした全国規模の事業。例年開催。ギターでのプロムナードコンサートをはじめに市内中学校を会場とした地域交流プログラム、全国から参加した高校生の交流会等の関連イベントも同時開催。
第27回 全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクティシティ浜松 大ホール他	3/21～22	

(5) 市民オペラ事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第7回浜松市民オペラ プレ市民参加型イベント オペラ「ブラック・ジャック 歌会」(仮称)	アクティシティ浜松 中ホール	9/7	宮川彬良氏を音楽監督として招聘し公募出演者によるオペラガラコンサートを開催。約半年間の練習を行い、次年度開催の創作オペラの魅力を紹介。

(6) 青少年音楽祭事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松青少年音楽祭 2014	アクティシティ浜松 大・中ホール 展示イベントホール 浜北文化センター 他	8/15～17	世界各国から、音楽を愛する優秀な青少年音楽団体を招聘し、音楽を通して浜松市民及び青少年との交流、国際友好親善を図る。市内広域でのサテライトコンサート、友好都市コンサートを開催し、世界の音楽文化の発展を図る。

(7) 札幌交流事業

事業名	会場	開催予定日	内容
札幌市との音楽文化都市交流事業 宝塚市との音楽交流事業	アクティシティ浜松 札幌コンサート ホールギター 他	通年	札幌市との音楽文化都市交流宣言に基づき、人材の交流、国内外への情報発信等を通じて音楽文化を振興。宝塚市との交流事業も開催。

(8) 市制記念式典

事業名	会場	開催予定日	内容
市制 103 周年記念式典	アクティシティ浜松 大ホール	7/1	市制記念日を市民とともに祝う企画。式典と音楽文化団体によるアトラクションを企画・開催。

(9) こども音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催予定日	内容
こども音楽鑑賞教室	アクティシティ浜松 大ホール	2/25～26 全4公演	市内全小学5年生を対象に本物のオーケストラ演奏に触れる機会を提供。

(10) アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催予定日	内容
■アカデミーコース 世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業			
第20回 浜松国際管楽器アカデミー& フェスティバル	アクトシティ浜松	7～8月	海外演奏家を講師として迎え、管楽器の奏者を育成するための短期セミナーと、講師陣によるコンサートを開催。今回は20周年顕彰事業として開催。(一部負担金事業)
第19回 浜松国際ピアノアカデミー	アクトシティ浜松	3/6～3/15	海外でも著名な教授を迎え、世界で活躍できるコンサートピアニストの育成プログラムや講師によるレクチャーコンサートなどを開催。
修了生公演事業	市内小中学校他	随時	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活躍の場を提供する公演企画。
■コミュニティコース 市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業			
原信夫のジャズクリニック	市内諸施設	10～2月 (全3回)	原信夫氏と元シャープス&フラッツのメンバーによる市内中学校・音楽団体を対象とした指導。
吹奏楽セミナー	浜松科学館 ホール	4/12	保科洋音楽監督を講師に、指導者派遣事業の講師による合同バンドをモデルとして吹奏楽課題曲講習会を開催。
	市内小中学校他	全8回程度	市小学校合同バンドを対象としたパート別講座と市内小・中学校を対象とした基礎合奏を学ぶ合奏講座。
ジャズ譜貸出事業	—	通年	ジャズ用、吹奏楽用等に編曲した楽譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出し。
音楽アラカルト	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	6～1月 (全5回)	広いジャンルと様々な視点から題材をとりあげ、音楽により親しむための講座を開催。
主催者育成セミナー	アクトシティ浜松 研修交流センター	5～2月 (全10回)	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成。事業開催実践セミナー。
合唱セミナー	アクトシティ浜松 他	6月、10月 (全2回)	NHK 全国学校音楽コンクールの課題曲講習会や合唱指導法、発声法などを学ぶ講座。
シリーズ「音楽探訪」	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	6～7月 (全3回)	音楽家や作品にスポットをあて、演奏と解説による講座を開催。
音楽指導者派遣事業	市内 希望学校・団体	通年	音楽指導者登録者を地元の音楽活動へ派遣し、音楽活動の活性化と人材活用を図る。
子ども音楽セミナー	市内諸施設	10～12月	生涯学習指導員による小中学生を対象にした吹奏楽、洋楽、邦楽の体験型セミナーを開催。
指揮法講座	クリエート浜松	8/8、22、29	指揮者の田久保裕一氏が一般音楽愛好家を対象に、合唱曲やピアノ連弾曲を使って、音楽作りや指揮法のノウハウを指導。

(11) 浜松国際ピアノコンクール開催事業

本年度は、第9回浜松国際ピアノコンクール開催前年度にあたることから、コンクール運営において重要事項である「出場者募集受付開始」及び「コンクール実施要項発表記者会見」を実施します。

コンクール開催記念事業第1弾となる「海老彰子ピアノリサイタル」の開催、国際音楽コンクール世界連盟総会への出席とあわせて、各音楽大学やメディアを訪問し、国内外においてコンクール開催をアピールします。

また浜松市は現在、「ユネスコ創造都市ネットワーク(音楽分野)」への加盟申請中であることもあわせ、浜松市の主要な音楽文化事業としての任を果たすべく事業拡充と広報展開を進めます。

① 年間事業スケジュール(委員会は別記載)

実施業務	開催予定日	場所等	説明
国際音楽コンクール世界連盟総会出席	4/3～6	韓国統宮市 (Tongyeong)	前年のテル・アヴィヴ総会を欠席したことから、本年の総会に振替出席し、総会参加義務(5年中1回)を履行する。 【出席の目的】 連盟総会議事、第8回コンクール開催報告、第9回コンクール広報活動、静岡国際オペラコンクール事業活動報告及び広報活動、各国コンクール主催者との交流及び優勝者ツアーの売り込み等。 ※国際音楽コンクール世界連盟:世界の主要コンクール 120 以上が加盟する組織。ユネスコ国際音楽評議会メンバー。
記者会見の開催	6/20	都市センター ホテル (東京都)	メディア、音楽業界関係者を招待し、国内外に向けて第9回コンクールの開催概要を発表。(実施要項、スケジュール、審査委員、課題曲、本選指揮者、告知デザイン他) 鈴木康友市長、海老彰子審査委員長、一柳慧運営委員長が出席・発表。
第8回浜松国際ピアノコンクール優勝者ツアー追加公演 「パリ・ショパン音楽祭」参加	6月	フランス パリ	ショパン協会が所属する国際連盟公認のショパン・フェスティバルにて、第8回コンクール優勝者のイリヤ・ラシュコフスキーをゲストとして派遣。(優勝者ツアー追加公演。職員は随行しない)
第9回浜松国際ピアノコンクール開催記念事業 第1弾 「海老彰子ピアノリサイタル」	1/15	アクトシティ 浜松 中ホール	コンクール開催年の幕開けとして、審査委員長海老彰子氏によるピアノリサイタルを開催。本事業が第9回コンクールの冒頭となる企画であり、コンクールイヤーを市内外に印象づける狙い。
第9回浜松国際ピアノコンクール出場者募集受付開始	2/1～ 翌4/15	--	第9回コンクール出場者の応募受付を開始する。オンライン又は郵送の両ツールで受け付ける。(前回コンクールで世界初となった予備審査DVD映像のアップロード受付を含む) これに先立ち、オンライン受付システムを再構築する。
課題曲委嘱作品の スケジュール管理・出版	通年	--	毎回、予選課題曲のために日本人作曲家が新譜を作曲。今回は2名の作曲家に依頼中。12月手稿提出までのスケジュール管理及び、手稿提出後の楽譜出版を調整。
審査委員との連絡等	通年	--	コンクール審査委員11名との契約事務、来日手配業務。

② 各委員会の開催

- ・実行委員会の開催(6月、9月、2月)
- ・運営委員会の開催(5月又は6月、9月、2月)
- ・専門委員会の開催(随時)

③ 広報計画

・開催告知記者会見(6月20日開催。詳細上記①)

(以下、開催告知記者会見以降の展開)

- ・浜松国際ピアノコンクール公式サイトのリニューアル(第9回コンクールバージョンに更新)
- ・国内主要音楽大学への渉外(挨拶回り、実施要項・販促物の配布)
- ・海外主要音楽大学・国際コンクールへの渉外(実施要項・販促物の郵送)
- ・国内主要メディア、音楽雑誌、文化欄担当者への広報活動
- ・音楽雑誌に出場者募集告知を掲載(国内/海外)
- ・企業への渉外(特別協賛・一般協賛・広告協賛の募集活動、開催協力依頼)

【参考】第9回浜松国際ピアノコンクール基調デザイン



ピアノの鍵盤をモチーフとした9枚9色の羽が、コンクール実績を表す「9回」を意味しています。
「音のつばさ」が「世界への羽ばたき」「未来への広がり」「ハーモニー」をシンボリックに表現しています。



(出場者告知ポスターイメージ)

II 芸術文化活動促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

1 アクティシティ浜松

芸術鑑賞、発表会、講演会をはじめとした様々な文化活動の拠点として、市民はもとより県内外のお客様にもご利用していただける施設として、ハード・ソフト両面において更なる努力をしております。

ご利用者へのアンケート調査やお客様から直接いただいたご意見・ご要望等の分析・検討を継続して実施し、顧客満足度の向上に努めます。アンケートでのご要望により昨年8月から運用を開始したWEB予約では、リピーターのお客様から好評をいただいております。本年度はより多くの方に利用していただくため、更なる周知徹底を図ります。

かねてより稼働率向上が懸案事項となっております展示イベントホールにつきましては、昨年度実施したマーチングキャンペーンに加え、音楽演奏会の練習や教育団体の発表会等での利用促進を図るため、音楽団体や教育機関を中心とした営業活動を行ってまいります。

お客様対応におきましては、お客様の視点に立った真心こめたサービスを提供してまいります。単なる施設の貸し出しではなく、お客様の主催される各種イベントの成功に向けて、今までに培った豊富な経験を活かしたアドバイスやアクティシティ浜松等のホームページ、イベントカレンダーへの積極的な掲載、チケットセンターでのチケット受託販売など、お客様の文化活動に対する支援の一層の充実を図ってまいります。

コンベンション誘致につきましては、浜松市、公益財団法人浜松観光コンベンションビューローなど関係諸団体との連携及び情報交換を図り、積極的な誘致活動に取り組んでまいります。特に参加者数、宿泊数の多い大規模コンベンションの誘致による地域の活性化を目指します。本年度は地元の浜松医科大学や聖隷浜松病院、浜松医療センターなどを中心に営業活動を実施し、医学系学会の誘致に積極的に取り組みます。

アクティシティ全体の活性化に関する事業については、昨年度に引き続き財団主導での活性化事業を進めてまいります。

事業名	開催予定日	内容
アクティシティ活性化事業		
① アクティシティで浜松まつり	5/3～5	浜松まつり期間中、サンクンプラザ他での「世界の屋台」出展。また、ダンス、楽器、歌等のライブパフォーマンスも実施。
② 浜松って、こんなところ	5月	浜松に赴任してきたアクティシティ関係者を集め、浜松の歴史、地域性、食材などを紹介するとともに、交流を深める。
③ 子どものためのアクティシティ探検隊	8月	20周年を機にアクティシティの様々な場所を子ども達に探検してもらい、新たな発見と驚きを提供する。舞台機構の裏側、ヘリポート、熱供給システムなど。
④ 展示イベントホール活用イベント	9月または10月	展示イベントホールを利用して、オクトーバーフェストの浜松版を実施。
⑤ パネル展「アクティシティの20年」	9～10月	20周年を記念して、アクティシティの20年をパネル展にて紹介。市民ロビーやタワー1Fなどに展示。
⑥ クリスマス関連イベント	12月	イルミネーションや、飲食イベント、ミニコンサートなどクリスマス雰囲気盛り上げる各種イベントの実施。
⑦ その他	通年	浜名湖花博10周年記念事業や、その他大型イベントと連動したイベントや講座、ディスプレイなどの事業実施。

2 浜松市教育文化会館・浜松復興記念館

浜松市教育文化会館は、昭和 36 年に「浜松市民会館」として開館し、以来長年にわたって浜松市の芸術文化の鑑賞、文化活動の拠点施設として多くの市民に利用されてきました。平成 7 年に「教育文化会館」と名称が変更されてからは、特にこどもたちの教育文化の拠点施設として愛されています。

また、浜松復興記念館は、開館以来、戦災復興の記録を通じて浜松の発展の歴史を紹介するとともに、地域や世代間の交流の場として利用されています。

指定管理最終年となる平成 26 年度を迎えるにあたり、更なるソフト事業の拡充と利用者サービスに力を入れて運営に取り組んでまいるとともに、浜松復興記念館では戦争資料の保存と活用について力を入れてまいります。

事業名	開催予定日	内容
あ 浜松市教育文化会館		
① 覗いてみよう！はまホール	8/9	舞台・客席・音響室などを見学する機会を提供。
② あなただけのプライベートコンサート	9/28	お客様のいない、たった一人だけのプライベートコンサートを行える機会を、年齢・性別を問わない数名に提供。
③ はまホール子ども演奏会	11/3	市内の子どもたちによる発表会。
④ 第 6 回浜松市民バンドフェスティバル	2/1	浜松市民バンド協議会に加盟する浜松市内の一般吹奏楽団による演奏会。共催：浜松市民バンド協議会
い 浜松復興記念館		
① 館所蔵資料の展示	通年	昭和時代の生活用品や戦災資料などの展示。
② 展示室の案内と説明	通年	入場者への展示資料等の説明。市内学校等の団体施設見学や浜松市戦災遺族会から語り部の手配を行う。
企画事業		
③ 昭和の浜松写真展	年 3~4 回程度	昭和時代の浜松市内の様子を写真パネルで展示。
④ 「物語で読む 昭和の教科書」	5/25	昭和時代を中心に、特に多くの人の思い出が残る教科書に掲載された作品を、BGM とともに朗読。
⑤ 特別展 写真と資料でみる「浜松・懐かしの昭和 30 年代」	7/29~8/31	昭和 30 年代の生活用品等の実物資料の展示と懐かしい浜松の風景を写真パネルで紹介。
⑥ 特別展関連事業「市政映画で見る昭和 30 年代の浜松」	8/16	昭和 30 年代の市政ニュースを上映。市内の様子、行事、現在とは異なる生活のスタイルなどを紹介。
⑦ 親子で聞こう「むかし戦争があった」	8/17	語り部による浜松空襲や戦中・戦後の体験談。 協力：浜松市戦災遺族会
⑧ かつばの縁日	8/17	地元自治会「利町青年会」による「かつばの縁日」。
⑨ 浜松復興記念館教育プロジェクト	年 2 回	小学生を対象とした学習の参考となる写真展を開催。
⑩ 資料及び寄贈物品の調査研究、保存、整理、収集情報の提供	通年	所蔵資料の調査、整理、デジタルデータ化、展示整備及び寄贈品の受付や保存、映像資料 DVD の提供。
う その他		
① 公式サイトの管理運営	通年	Web 上での施設や催事の案内をはじめ、イベントレポートや利用者の活動状況等を掲載。
② イベントカレンダーの発行	月 1 回	イベント事業や施設利用の案内等を掲載。

3 クリエイト浜松

今年度も、他施設にはないクリエイート浜松の魅力を最大限発揮しPRできる事業を展開してまいります。

人との触れ合いが希薄となっている昨今、クリエイート浜松の魅力のひとつである多彩な施設を活用し、参加者同士がコミュニケーションを図りながら関心のある講座を自ら企画開催する「クリハマ楽校」を引き続き開催します。

また、クッキングルームやアトリエを活用して、「チャレンジクッキング」「夏休み親子工作教室」等を開催し市民に周知するとともに、生涯学習の拠点としてクリエイート浜松に登録されている豊富な生涯学習登録講師を活用して「自分史講座」等を企画し、クリエイート浜松の魅力を発信してまいります。

平成24年度から開催している「Creative Gala」を今年度も引き続き実施し、ふれあい広場の活性化を推進するとともにクリエイート浜松への新規来館者並びに利用者の増加や賑わいの創出を図ります。

そのほか共催事業として、昨年度実施して好評を博した「クリエイートの夏まつり」「クリエイートの冬まつり」を開催し、地元住民に愛される施設となるよう努力するとともに、美術、音楽、舞踊、食、文芸などのさまざまな文化活動に参加する人々が企画する、秀逸かつ実現可能で浜松の文化振興に寄与すると思われる事業について、財団が共催となって広報活動等協力し、事業の開催を支援する「Collabo with！」企画を継続実施します。

事業名	開催予定日	内容
あ 自主事業		
① クリハマ楽校	通年	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場を創出。
② ふれあい広場活性化事業 Creative Gala(クリエイティブ・ガラ)	通年	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。
③ チャレンジ！クッキング	8月	小学4～6年生対象の料理教室。
④ 夏休み親子工作教室	8月	アトリエを使用して、親子を対象にした工作教室。
⑤ 自分史講座	未定	稼働率の低い特別会議室を使用して、社会人を対象に自分史を作成する講座。
い 共催事業		
① Collabo with！クリエイート(コラボ・ウイズ)	随時	文化団体等から企画提案された浜松の文化振興に寄与する事業を共催者として支援。
② クリエイトの夏まつり	8/24	主に地元住民を対象とした物販や文化イベントを開催。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、 (公財)浜松国際交流協会
③ クリエイトの冬まつり	未定	主に地元住民を対象とした物販や文化イベントを開催。 共催：市中部協働センター
④ 第5回 はままつグローバルフェア	2月	フェアトレードショップや国際交流ブースを設けたイベント。着物などの日本文化にも触れられる場とする。 共催：はままつ国際理解教育ネット、(公財)浜松国際交流協会、(独)国際協力機構中部国際センター
う その他の事業・機能		
① 生涯学習情報コーナー事業	通年	生涯学習情報の収集と提供。
② 文化情報サロン事業	通年	財団事業の紹介及び文化団体情報の収集と提供。当施設利用の同好会文化団体への取材と情報発信を実施。
③ 託児スペースの提供	通年	主催者の要望により児童室を無料提供。

4 浜松市浜北文化センター

浜北区を中心とした文化・生涯学習の発信拠点として、市民の皆様に親しんでいただける施設を目指すとともに、鑑賞ニーズに応えたコンサートやワークショップなどを開催します。

平成 26 年度は、人気の高い「ゆるやかコンサート」や、恒例の「浜北寄席」、「ワークショップ事業」に加え、子どもから大人まで高い人気を誇る「ズーラシアンブラス」音楽の絵本を実施します。また、夏休みには静岡県文化財団と協力し、「世界のこども劇場」を開催します。

子育て世代からご好評をいただいている「ゆるやかコンサート」では、季節ごとの開催に加え、新たに琴などの伝統楽器を取り入れたコンサートを実施するほか、子育て世代が集まる活動の場を提供していきます。

また、浜北で 3 年目となる「ザ・ヤングアメリカンズアジアーツアー2014」や、初企画のご利用感謝祭「HKBC フェスタ」など、積極的な事業の展開を行ってまいります。

事業名	開催予定日	内容
① 妊婦とお母さんのための 「ゆるやかコンサート」シリーズ 春、夏、秋、冬	5/30、7/8 調整中 (年 4 回)	育児中の保護者や妊娠中の方を対象とした、地元で活躍するプロの演奏家によるクラシックコンサート。
② 「ゆるやかコンサート」～伝統楽器編	調整中	「ゆるやかコンサート」の特別バージョン。琴などの伝統楽器を取り入れたコンサート。
③ 「ゆるやかコンサート」～創作編	調整中	「ゆるやかコンサート」を通じて集った子育て中の保護者が子育ての助けになるような小物をつくって、仲間づくりの機会を提供する。
④ ザ・ヤングアメリカンズ アジアーツアー2014 夏 in 浜松	6/13～15	アメリカの非営利音楽教育団体「ヤングアメリカンズ」を招き、小中高校生を対象に 3 日間の芸術表現教育を実施する。 共催: NPO 法人じぶん未来クラブ
⑤ ズーラシアンブラス「音楽の絵本」	6/29	子どもたちの音楽への興味を湧き起こし、動物たちが奏でるクラシックやアニメ、童謡を通して音楽への関心や感動を提供する。
⑥ 世界のこども劇場 2014	8/5	海外から劇団を招へいし、地域の子どもたちが世界の文化に触れる機会を提供する公演。共催: 静岡県文化財団
⑦ ワークショップ事業 「豆記者になって、壁新聞を作ってみよう！」	8 月下旬	若者の新聞離れが進んでいると言われていの中で、子どもたち自身が豆記者となり、「学ぶ力」、「考える力」、「まとめる力」を高める。
⑧ ワークショップ事業 「ドリームハンズがやってくる！」	10/25	モノづくりの街浜松こちなみ、モノを作り上げる楽しさや完成したときの喜びを体験する。協力: 本田技研工業(株)
⑨ HKBC フェスタ (仮称)	12 月上旬	浜北文化センターを練習・活動場所として利用するサークル等に、日頃の成果を発表する場及び交流の場を提供する。 (HKBC=浜北文化センター)
⑩ 第 32 回浜北寄席	調整中	プロの落語家による公演。

5 浜松こども館

開館以来浜松こども館が積み上げてきた遊びを核とした「こどもの健全育成」、「保護者の子育て支援」、「幅広い交流の実績」を土台に、公益性・文化性を重視した魅力ある事業を企画・実施します。

指定管理者として、新たに浜松まちなかマネジメント株式会社と浜松市文化振興財団との共同事業体による管理運営を行います。まちなかマネジメントが持つまちづくりのノウハウ・民間企業団体のネットワークと文化振興財団がもつ今までのこども館運営の経験・実績との相乗効果により、中心市街地のにぎわい・広報宣伝の拡大・プログラムの魅力アピール・集客アップを図ります。

事業名	開催予定日	内容
あ 日常的事業		
① 放課後ひろば	平日の午後	近所の子どもたちが遊んだり、宿題をしたり、おしゃべりなどをする広場。大学・専門学校の学生も参加。
② ママ&マタニティカフェ(託児有)	平日	地域の人たちを講師とし、母親たちがゆったりコミュニケーションをとりながら体験や学習をできる場を提供。
③ 路地裏あそび	開館中随時	「コマ」「おりがみ」「ドッチビー」など、日常的な遊び空間をスタッフ、ボランティア、来館者が一緒になって創る。
④ ことばあそび	開館中随時	人とのかわりの基となる日本語の美しさや面白さを、川柳など様々な形で伝えたり、表したりして、あそびながら学ぶ場を創る。
⑤ 読み語り・図書	開館中随時	「遊び場」としての特徴を生かした本とのふれあい、出会い、読み聞かせの時間。
⑥ 誕生日のお祝い	開館中随時	誕生月の子どもを祝い、身長・体重の測定、手形をとる等、成長をみんなで喜び合う。
⑦ 自然を感じる	開館中随時	屋上庭園の活用を中心に、花などの栽培を通して、みんなで自然を感じる時間。
い 遊び体験機能事業		
① しょうぎに挑戦	年 24 回	将棋の先生を招き、子どもから大人まで将棋に触れて交流する機会を提供。協力: 日本将棋連盟
② コマ検定	年 11 回	日常の「コマ遊び」の意欲付け、目標としてこども館オリジナルコマ検定を行う。
③ ボールプールおそうじ隊	年 12 回	遊び場である「青白ボールプール」の入れ替え作業を、仕事体験の要素を大事にし、来館者とともに実施する。
④ お父さんと遊ぼう	年 6 回	父親だからこそ出来る、親子での運動遊びの時間。父親の育児参加も促進する。
⑤ つながるひろば	年 4 回	芸術全般をテーマにし、見る・聞く・体験するなど様々な要素を織り込んだ事業。
う ものづくり体験機能事業		
① おりがみあそび	年 23 回	ボランティア協働事業。人々とふれあいながら、おりがみを楽しむ機会を提供。
② わくわくスタジオ	年 36 回	子どもから大人まで、身近な素材を使用して質感や変化を感じて表現する造形遊び。
③ 土ねんどで遊ぼう	年 48 回	土ねんどを使った造形遊び。子どもの豊かな表現力が発揮される場を創る。
④ HONDA の親子でダンボールクラフト	年 2 回	本格的なダンボールクラフトを、ものづくりに携わる人たちと交流しながら、親子で一緒に製作する講座。 協力: 本田技研工業
⑤ おやつ作り	年 35 回	おやつ作りを通して、調理するおもしろさや、食べる喜びを体験する場を提供。

事業名	開催予定日	内容
⑥ パン作り	年 35 回	自由に形づくることができるパンの特徴を生かし、子どもの表現力や創造力が発揮できる場を提供。
⑦ 親子で顔ピザ作り	年 9 回	顔というゆるやかなテーマに沿いながら、親子で作って食べることを通じて、親子のふれあいを深める場とする。
⑧ おむすび作り	祝日 長期休暇	「おむすび」という伝統的食文化を体感する機会を提供。
⑨ おやつ工房講師プログラム	年 3 回程度	「食のきほん」「手間をかける」「自分の感覚を培う」などの狙いを、講師のもとで子ども・親子が体感する場。
え 子育て支援機能・交流事業		
① いっしょにあそぼ ねんね・ごろんの赤ちゃん	年 20 回	母親が言葉と声にすることの楽しさに気づき、日常の育児に活かせるようにするための学び遊びプログラム。
② いっしょにあそぼ ハイハイ赤ちゃんと	年 20 回	親子での運動遊びを通して、心身の健全な発達や親子の愛着を促す時間。
③ いっしょにあそぼ ヨチヨチちゃんと	年 20 回	
④ いっしょにあそぼ トコトコちゃんと	年 20 回	
⑤ こここべビーマッサージ	年 30 回	
⑥ はじめてのワークショップ	年 11 回	子どもが自由に創造・表現できるワークショップ。
⑦ 音と遊ぼうリズム	年 36 回	音遊びを通して、自己表現する楽しさと創造力を培う。
⑧ ミュージックコンサート	年 8 回	育児中の方でも気軽に音楽に触れ、楽しむコンサート。
⑨ ママさん&マタニティヨーガ	年 22 回	妊婦や育児中の方を対象にしたヨーガの基礎体験。
⑩ いっしょに話そう！ママのつどい	年 10 回	母親たちが集い、子育て相談や事例等を話しながら、情報を共有・共感する場を提供。 講師:NPO 法人親支援プログラム研究会
⑪ 子育て何でも相談	開館中随時	育児の相談に、職員・専門家が応じる。
お 託児事業		
① 託児事業	開館中随時 (10～17時)	生後6ヵ月～3歳未満の子どもの一時預かり保育。
か アウトリーチ事業		
① 移動こども館 「こここべビーマッサージ」	年 8 回	来館の機会が少ない周辺地域でのアウトリーチ事業。西区・浜北区・北区での開催を予定。
② 移動こども館「土ねんどで遊ぼう」	年 3 回	浜松市内の保育園・幼稚園・特別支援学校に出張して行う事業。教育機関との連携を高める。
き 団体向け事業		
① 団体向けプログラム「土ねんどで遊ぼう」	年 7 回	市内保育園等を対象に、独自の遊びメニューを提供。
く 長期休暇事業		
① 夏休み特別事業	夏季休暇中	「シンプルだけどワクワク・ドキドキを感じる」「子どもも大人も遊び込む」などのコンセプトをもとに、テーマに沿った遊び場を、こども館を中心に街中で展開する。
② 冬休み特別事業	冬季休暇中	
③ 春休み特別事業	春季休暇中	
け ボランティア活動事業		
① 市民ボランティアの募集、研修、育成	6～10月	中高生、社会人を対象としたボランティアの募集、研修、育成。研修後は、こども館の事業に参画。
② 市民ボランティア活動	開館中随時	研修を受講したボランティアによる事業参画活動。
こ その他の機能事業		
① 保育者向けワークショップ	年 1 回	浜松市近隣の保育園、幼稚園、児童館などの職員を対象とした実践的研修。日々の保育への活力につなげ、併せてこども館への関心を高める機会とする。

Ⅲ 観覧施設を活用した資源を調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

1 浜松市楽器博物館

平成 27 年度の開館 20 周年を念頭に、これまでの活動成果のまとめと将来に向けての準備に本格的に着手し、「教育文化機関としての博物館の質」と「観光施設としての魅力」という 2 つの要素の充実をさらに図ります。

浜松市のユネスコ創造都市指定も視野に入れて、常設展示の再構築に取り掛かり、併せて楽器博物館総合案内(所蔵楽器の紹介と世界の音楽文化の紹介)日本語版・英語版の制作に着手します。また現在進行中の所蔵楽器のデータベース制作を継続します。

大学、企業、研究者、演奏家など国内外の音楽・楽器関係者との協力関係を継続し、夏には国内外のバグパイプ愛好家とのコラボによる特別展を開催します。

多くの推薦や文化庁芸術祭大賞を受けるなど、各界で高く評価されている楽器博物館コレクションシリーズ CD では、フォルテピアノとナチュラルホルン、リュート、日本の箏の CD を制作発売します。また 20 周年に向けた CD の録音をします。調査・研究事業として、森町の舞楽の記録と、日本の伝統楽器である一絃琴・二絃琴の国内での伝承調査のまとめをします。海外からの評価も高まってきていますので、引き続き国際会議に積極的に参加し海外への情報発信と海外研究者、博物館との関係構築に努めます。

事業名	開催予定日	内容
あ 特別展・企画展・常設展		
① 企画展「切手に見る楽器たち ～江波戸昭コレクション展」	5/3～6/1	江波戸昭氏の世界最大の楽器切手コレクション展示。
② 特別展「風に歌う、風に響く ～バグパイプの世界～」	8/2～31	世界のバグパイプの展示とワークショップ。
③ 常設展の運営	通年	楽器展示室、体験室の管理運営。
い ガイドツアー・ミュージアムサロン		
① 展示室ガイドツアー	毎日曜日	職員による展示解説。
② ミュージアムサロン	通年	職員・ゲストによる展示室でのミニコンサート。
う 演奏会(レクチャーコンサート・イブニングサロン)		
■ レクチャーコンサート		
① 「ハープ」	4/11	ルネサンスとバロックハープ。演奏: 西山まりえ
② 「フラメンコギター」	5/14	フラメンコギターの伝統と現代。演奏: 鈴木尚 他
③ 「柳川三味線」	5/24	京都に伝承する柳川三味線。演奏: 林美恵子 他
④ 「テグム」	6/6	韓国の横笛テグム。演奏: 金賢敏 李昌燮
⑤ 「バンジョー」	6/18	米国イースト・テネシー州立大学ブルーグラスバンド。
⑥ 「ピッコロヴァイオリン」	6/25	現代のピッコロヴァイオリン。演奏: 古舘由佳子 他
⑦ 「バーンスリー(インド)」	7/5	インドの横笛バーンスリーとインド音楽理論の紹介。
⑧ 「オーボエ」	2月	オーボエの歴史。演奏: 三宮正満 水永牧子
⑨ 「フォルテピアノ」	3/11	所蔵フォルテピアノ。演奏: 平井千絵
■ イブニングサロン (夜のミニコンサート)		
① 「バグパイプ」	8/8, 8/9	特別展「バグパイプの世界」関連コンサート。
② 「バリのガムラン・アンクルン」	11/29	静岡文化芸術大学ガムランサークルによる演奏。
③ 「クリスマス・ジャズ」	12/10	市民ジャズピアノトリオによる演奏。

事業名	開催予定日	内容
④ 「ビルマの堅琴サウン・ガウ」	1月	ミャンマー人演奏家によるビルマ伝統ハープの演奏。
⑤ 「国際古楽コンクール山梨入賞者演奏会」	未定	平成26年度コンクール入賞者の演奏。
え 講座・ワークショップ		
① ワークショップ「ひちりき入門」	7/27	雅楽の楽器ひちりきの演奏入門講座。
② ワークショップ「ジャワ・ガムラン入門」	8/29	インドネシア・ジャワ島のガムランの実技入門。
③ ワークショップ「ジャワ舞踊入門」	8/30	ジャワ舞踊の入門講座。
④ ワークショップ「ワヤン人形を作ろう」	8/30	ジャワ島の世界遺産影絵芝居の人形作り。
⑤ ワークショップ「モンゴルのホーミー入門」	9/21	喉歌ホーミーの実技入門。
⑥ 講座「楽器の中の聖と俗」	全4回	名誉館長西岡信雄による世界の民族音楽講座。
⑦ ワークショップ「韓国のチャンゴ入門」	未定	代表的伝統太鼓チャンゴの実技入門。
⑧ 講座「鍵盤音楽の歴史」	3月	ヨーロッパの鍵盤音楽史講座。
お 市内小学校移動博物館		
① 中川小学校	9/9～11	市内小学校への移動博物館。
② 泉小学校	9/30～10/4	
③ 西気賀小学校	1/21～22	
か 楽器整理・調査・情報発信		
① 常設展整備	通年	開館20周年に向けて常設展整備に着手。
② 音楽文化・芸能調査	通年	森町舞楽の映像保存・調査。
③ CD・図録の制作	通年	所蔵楽器のCD3種、企画展図録、総合案内。
④ 所蔵資料の調査・整理・修復	通年	所蔵資料の調査、整理、修理、修復、展示整備。
⑤ 広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	年10回程度。市内小中学校・公共施設等に配布。
⑥ 公式ホームページサイトの管理運営	通年	一般情報とアーカイブス、最新情報ほかを発信。
⑦ 国際会議への参加と発表	通年	世界博物館会議楽器博物館部門(8月下旬・ストックホルム他)・東南アジア民族音楽学学会(10月・北京)
き 他博物館・教育研究機関等との連携		
① 名古屋芸術大学との共同調査	通年	日本の一絃琴と二絃琴の伝承現況のまとめ。
② 静岡県埋蔵文化財センター共同展示	通年	県内遺跡出土楽器の楽器博物館での展示。
く 研修受け入れ		
① 学芸員実習	8/27～9/4	全国の大学より公募して受け入れ。6人予定。
② インターンシップ研修	通年	市や静岡県内外の大学生を中心に受け入れ。
③ 教職員研修	通年	浜松市の教職員の研修受け入れ。
④ 中学生職場体験	通年	浜松市の中学生の職場体験受け入れ。
⑤ 中学校との共同授業	下半期	世界の楽器を通しての国際理解教育。

2 浜松科学館

来館者が、帰る時には目を輝かせている、それまでよりも科学の世界に一步足を踏み入れていただけるように、浜松科学館のスタッフは日々の運営に努めます。それは、館内で実施する講座やイベント、プラネタリウムでの解説といったソフト事業、展示場内における来館者とのコミュニケーションや小型展示案内端末 U4 のコンテンツ充実といった展示品(ハード)に対するフォローを通じて実践してまいります。また、地元企業、大学・高校、各種団体と協働し、「おや！なぜ？横丁」をはじめ各種共催講座を実施することで、館内にはない資源を取り入れ、科学コンテンツの提供に対して更なる充実を図ります。

夏休みの恒例イベントである特別展は、忍者にスポットをあて、超人的な活動の中に潜む科学や関連のある科学について紹介し、子どもたちの好奇心をそそる企画とします。一方で、ナイトプラネタリウムをはじめとする大人向けの企画も引き続き実施いたします。そのほか、休憩コーナーと、館外の自然観察園に手を加え、ソフト事業への有効活用に努め、古くなった展示品に代わる新たな展示品が導入できるようハード面での営業活動も引き続き推進いたします。

事業名	開催予定日	内容
あ 子ども事業		
① ふしぎな科学講座	4～2月 (各6回)	小学校中学年から中学生までを対象とした観察・実験・工作を行う講座。
② わくわくものづくり講座		
浜松サイエンスアドベンチャー事業		
③ 活動V期生(平成25年度募集生)	通年	ものづくりの街浜松をささえる企業の見学や、技術者から話を聞く機会を提供。小4～中2の40名を募集。
④ 活動VI期生(平成26年度募集生)		
ロボット講座事業		
⑤ 第14回リモコンマシン・アイデアバトル	5～3月	有線式リモコンマシンを競技会用にチューニング。基本的な回路を理解し、操縦の楽しさを味わう講座。
⑥ 第14回ロボカップジュニア	9～11月	自律運動型ロボットの組立とプログラム学習。本講座で優秀な成績を収めたものは東海大会への進出権を得る。
館内特別イベント		
⑦ つくり隊！あそび隊！！	年7回	身近にある材料を利用して科学工作を楽しむ。
⑧ 試してみよう！	年7回	簡単におこなえる科学実験を楽しむイベント。
⑨ 科学館探検ツアー	年2回	館内クイズラリー・裏側探検など家族で楽しめるイベント。
⑩ スペシャル☆サイエンスショー	年1回	サイエンスショーより内容・時間を拡大し開催。
⑪ GW スペシャルイベント	5/3, 4	気軽に楽しんでいただく実験工作イベント。
館内定期イベント		
⑫ サイエンスショー	原則第1・2・5週 の土日	科学を身近に感じてもらう実験ショー。
⑬ ミクロ観察	原則第3・4週 の土日	肉眼では見えない小さなものを光学顕微鏡で観察。
⑭ ミニ実験		身近な材料・道具を使った実験を紹介。
い 親子参加事業		
① 親と子のかがかく講座	通年 (年数回)	大人にも手ごたえのある講座を中心に、親子で一緒に取り組む講座として設定。
② ときめきら星空・宇宙講座	年2回	プラネタリウムを活用し、宇宙・天文またそこで培われている技術などについて学ぶ講座。

事業名	開催予定日	内容
う 大人参加事業		
① 大人のための科学講座	年数回	大人を対象とした科学講座。子ども講座の中でも人気の高い講座を中心に実施。
え 特別展・常設展運営事業		
① 特別展「科学忍者屋敷」(仮称)	7/19～8/31	武士が活躍していた時代、その陰で常人の域を超えた行動で諜報活動していた忍者に焦点を当て、彼らの中に培われていた科学にせまる。共催:静岡新聞社・静岡放送
② 常設展の運営	通年	力・音・光・自然・宇宙・エレクトロニクスのテーマ別にわけた参加体験型の展示。また、職員の解説と共に展示案内端末U4を中心としたヘイムズIV等も活用し、より展示品を楽しみながら理解を深める場を提供。
お プラネタリウム事業		
一般投影		
① 浜松科学館 制作番組	7/19～3/31	科学館職員制作プログラム。全編生解説で投影。
② 一般番組	通年	既製番組とスタッフによる星空解説のセット投影。
③ 団体向け投影	通年	学校の理科学習とリンクした学習投影。
④ 金曜日のナイト・プラネ	月2回	仕事帰りの大人を対象として、19:00から行う夜間投影。
⑤ Twilight Healing Planetarium	8月盆休み	夕方から実施する大人向けのプラネタリウム番組。
⑥ プラネタリウム&コンサート	10/4、12/6、2/7	生演奏とプラネタリウムの生解説によるライブ。
か 共催事業		
① 見えない放射線を見てみよう!(仮称)	日程調整中	簡単なキットを用いた放射線の観察。 共催:中部原子力懇談会
② おもしろエンジン実験室 ～電動アシスト自転車の秘密～	5/24	電動アシストについての講義と体験。 共催:ヤマハ発動機株
③ 第17回リフレッシュ理科教室	6/7	最先端科学の研究者が講師となり、科学のおもしろさを伝える。共催:(公社)応用物理学会東海支部
④ 手作りカート組立教室	6/15	手作りカートを組み立て、それを実際に運転する。 共催:本田技研工業株浜松製作所、CSN 浜松
⑤ 手作りギターをつくって演奏しよう!	6/28	身近な素材を使った楽器製作を通して、音の科学について理解を深める。共催:CSN 浜松、ヤマハ株
⑥ 第10回どきどき科学探究教室	7/6	生物・地学・物理等、大学教員から直接指導を受け、科学へのあこがれを持たせ、研究の視野を広げる。 共催:(公財)山崎自然科学教育振興会
⑦ ボートふしぎ発見教室	9/21	船についての講義と、身近な素材を使った船の製作。早く進む船の形を考え、試す。共催:ヤマハ発動機株
⑧ 親子電波教室	9/27	AMラジオの制作を通して電波利用について理解を深める。共催:静岡県電波適正利用推進員協議会
⑨ ちっちゃいもの見よう!(仮称)	10/25	顕微鏡を用いた細菌やプランクトン等微生物の観察。 共催:日本微生物生態学会、日本土壤微生物学会、環境バイオテクノロジー学会、日本菌学会

事業名	開催予定日	内容
⑩ 第19回 おや！なぜ？横丁	12/13、14	ものづくりの街浜松を代表する多くの企業、大学・高校・ジュニアボランティア等による体験イベント。
⑪ 鉄道模型大集合！！	日程調整中	Nゲージの鉄道模型ジオラマ展示。協力：浜松学院中学校・高校鉄道研究部、浜松学院大学地域交通サークル
き 学校・地域連携事業		
① 出張授業 ゴーゴーおもしろサイエンス	年間15校以上	市内の小学校に出掛け、「サイエンスショー」を実演。
く 相談事業		
① 理科自由研究の相談	7～8月	研究の進め方・まとめ方、実験・観察方法等の指導・助言。協力：浜松市教育研究会理科研究部
② 発明くふうの相談	8月	発明研究グループが、子どもたちの発明作品の指導・助言をする。2日程度。協力：浜松発明研究会
け 作品展・表彰式		
① 第25回発明とアイデア展	4/19、20	会員のアイデア・発明作品を展示。共催：浜松発明研究会
② 浜松市小・中学生理科自由研究作品展 及び櫻場賞授与式・理科自由研究発表会	9/6～23 11/3	市内の小・中学生の理科自由研究の優秀作品を展示し、優れた作品を顕彰。うち数名が研究発表を行う。共催：浜松市教育研究会理科研究部
③ 第36回浜松市小・中学生発明くふう優秀作品展 及び優秀作品表彰式	9/13～28 11/3	浜松市内の小・中学生の発明くふうの優秀作品を展示し、顕彰する。共催：浜松経済クラブ
④ ゆめいっばい小学生宇宙絵画展	2月	浜松市内の児童生徒から募集した宇宙の絵の展示。共催：浜松市天文台
こ ボランティア育成事業		
① ボランティア研修会	年数回	ボランティアの活動内容説明や、接客・実技研修。
② ボランティア連絡会	年数回	実施事業や事業計画について確認。
③ ボランティア・コンテナ	8月	ボランティアの自主的な活動を通じて、心豊かで創造性あふれる青少年の育成を図る。
さ 研修事業		
① 博物館学芸員実習 及び インターンシップ実習受け入れ	8月 (数名)	大学生の校外実習への協力。将来の優れた科学館職員となる人材づくりを目指す。接客業務、展示研究の検証を行う。
② 教職者社会体験研修受け入れ	8月 (数名)	教職員を対象に、社会教育施設での研修の場を提供。接客マナーやサイエンスパフォーマンスを体験する。
③ 職場体験学習受け入れ	通年	実験準備・接客業務のほか、展示物を学び展示解説のポスター作成の広報体験を行う。
し その他		
① 広報誌「はままつ科学館通信」の発行	年5回	講座・イベント事業・プラネタリウム投影番組の案内や、展示品の解説コラム・科学に関する時事話題を掲載。
② 「浜松科学館メールマガジン」の発信	月1回	講座・イベント情報等をメール会員宛(約700人)に配信。

3 浜松文芸館

平成26年度は浜松ゆかりの文芸人たちの顕彰・研究事業では、前年度開催した「自筆から見る浜松ゆかりの文人たち」の第2弾として、展示対象者を替えてその自筆原稿や書・画等を展示します。また、藤枝静男に宛てた首宮一念の書簡を整理し、解説を加えて出版します。浜松地域の文化ネットワークとも連携した企画展として、「秋山鐵夫の絵と詩で紡ぐ癒しの空間」と題し、浜松市在住である秋山鐵夫氏のメルヘン的な絵と詩を紹介する展示を実施します。

浜松市民の文芸文化を広げていく講座では、毎年多くの受講者がいる「文学講座」や「文学散歩」をはじめ、市民のニーズに合わせて近年開講した「文章教室」、「カッターで作る切り絵教室」等の更なる充実を図ります。また、夏休みには子ども向けの「夏休み絵本づくり講座」や「夏休み額縁をつくろう」、「10歳からの少年少女俳句入門講座」を開催します。夜間講座として、子どもに読書指導をする立場の人たちを募って、本好きな子どもを育てるための講座を開催します。

「浜松市民文芸」の発刊にあたっては、応募者数の拡大を工夫するとともに、講座との連携を図って、よりいっそう質の高い文芸誌を目指します。

事業名	開催予定日	内容
あ 展覧会		
① 特別収蔵展 「自筆から見る浜松ゆかりの文人たちⅡ」	4/1～7/21 (H26.3/21 より開催)	収蔵品の中から浜松ゆかりの文人の自筆原稿や作品を展示。
② 企画展 「秋山鐵夫の絵と詩で紡ぐ癒しの空間」	8/2～11/3	浜松市在住の洋画家秋山鐵夫の作品とポエムを展示。
③ 収蔵展(予定)	日程調整中	館内の収蔵品を展示し、浜松市の文芸資料を紹介。
④ 出張展示会	年1回程度	市内公共施設と提携した収蔵展等の出張展示。
い 講座		
① 俳句入門講座	前期・後期 各5回	初心者向けの俳句作りの知識・技能と鑑賞法を学ぶ講座。前期:6～7月、後期:10～11月
② 短歌入門講座	年5回	初心者向けの短歌づくりの知識・技能を学ぶ講座。
③ 文学講座	春・秋 各6回	「伊勢物語」を読解する。(前年度に引続き後半部分)
④ 文学と歴史講座	年5回	文学を時代の流れと共に読み説く。
⑤ 現代詩入門講座	年5回	初心者向けの現代詩の基礎知識や作詩の方法を学ぶ。
⑥ 文章教室	各4回	随筆や自分史の書き方を学ぶ。
⑦ 宮沢賢治童話を楽しむ講座	年3回	宮沢賢治童話を鑑賞し、魅力を語りあう講座。
⑧ 川柳入門講座	年5回	初心者向けの川柳づくりの知識・技能を学ぶ講座。
⑨ 声であらわす文学作品講座	年6回	詩・文学の名作を音読で親しむ講座。
⑩ 大人のための絵本づくり講座	年6回	大人を対象に、お話作りから製本まで世界に1冊だけの絵本を作成。
⑪ 自由律俳句入門講座	年3回	自由律俳句の知識・技巧を習得する。
⑫ うら打ち入門講座	年1回	初心者向けの習字や日本画などを美しく保存する手法を学ぶ講座。
⑬ カッターで作る切り絵教室	年5回	カッターで作出す白と黒の無限の世界を体験する。
⑭ 手渡そう、読書の楽しさ	年2回	本好きな子にするためにはどのようにしたら良いかを学ぶ講座。(夜間講座)

事業名	開催予定日	内容
う イベント		
① 文学散歩	年1回	県内の文芸施設を訪ねる。
② 朗読会	年1回	朗読を通して、有名な文学作品を味わう。
え 講演会		
① たかはたけいこ氏講演会「自分史を書こう」	年1回	浜松市在住のエッセイスト、たかはたけいこ氏の講演会。
お 子ども向け事業		
① 夏休み絵本づくり講座	年1回(夏期)	絵本づくりを一から学び、作成する。
② 10歳からの少年少女俳句入門講座	年3回(夏期)	児童向けの俳句講座。
③ 夏休み額縁をつくろう	年1回(夏期)	オリジナル立体額縁を作成する。
か 浜松市民文芸事業		
① 第60集の作品募集・選考	9～12月	小説、評論、詩、短歌他 9 部門で文芸作品を市民公募・審査選考し、優秀作品を「浜松市民文芸」として編集・発行する。
② 第60集の編集・発行	12～3月頃	
③ 第60集の掲載作品の表彰	3月頃	
④ 販売・電子出版(過去の発行誌を含む)	通年	
き 資料の調査研究・保存・整理		
① 資料収集・研究・整理事業	通年	資料収集対象者を中心とした資料の収集・研究・整理分類及び寄贈品の整理等。
く 教育機関との連携		
① 入館者や学習見学者への案内・説明	通年	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受入れ。
② インターンシップの受け入れ等	通年	インターンシップ(学外実習)希望者や、市内中高校生の体験学習の受入れ。
け その他事業		
① 文芸館広報誌 「いざない 浜松文学紀行」発行	隔月1回程度	文芸館の各講座や、浜松と関係のある文人、文学を順次紹介する。
② 浜松市文化振興財団自主出版 「風紋のアンソロジーⅠ、Ⅱ、Ⅲ」販売	通年	500円/冊
③ 出版物・地域伝統品の委託販売	通年	講座講師著書・地元発行「遠州文学散歩」の出版物や、やらまいかブランド「遠州綿紬」、地元額縁店「ミニフォトフレーム」の委託販売。

4 浜松市旧浜松銀行協会

平成21年12月に浜松市旧浜松銀行協会が、木下恵介と中村與資平という浜松出身の偉人の業績を顕彰する施設としてオープンして5年目に入りました。

昭和5年(1930年)に建設された建物は歴史的建造物としての浜松市指定有形文化財であるとともに、市民に利用される唯一の公共施設として重要な役割を担っています。

平成26年度は、木下恵介生誕100年(1912年12月5日生)事業終了後、引き続き木下恵介監督の業績や功労を広く告知するとともに、より素顔に迫った木下恵介像や作品の数々をタイムリーに紹介し、きめ細やかな新しい視点からの研究・分析を進めていきます。

また、市民参加による会員組織「けいすけクラブ」や「栄町映画倶楽部」の活動の深度化を図り、館広報誌「栄町だより」の発行などを通じ、木下恵介監督の顕彰と事業案内を広めていきます。

事業名	開催予定日	内容
あ 展示事業		
① 企画展 「二十四の瞳」制作60年記念展	前期4～9月 後期10～3月	ゴールデングローブ賞等国内外の賞を総なめにした国民的映画「二十四の瞳」の制作60年を記念して企画展を開催。映画ポスターやトロフィー、台本等多数展示。あわせて未公開の恵介監督のプライベート収蔵品の数々も公開。
② 木下恵介生誕100年記念映像の常設 「天才と呼ばれたオトコ」 (松竹株式会社 阿部勉監督)	通年	生誕100年を記念して制作した映像を、展示室にて自由に視聴できるよう常設。木下恵介監督作品名場面のダイジェストのほか、新たにプロフィールを加え再編集。
③ 常設展	通年	旧浜松銀行協会設計士の中村與資平関連資料の展示。
い 企画事業		
(ア) 上映会事業		
① 木下恵介作品 館内上映会	月1回	毎月第3日曜日に2階アートホールで100インチの大型スクリーンを使用して木下恵介映画作品を上映。(各日2回上映。)
② 地元応援 特別上映会「青い青い空」	5/3	浜名湖えんため映画製作プロジェクト第2弾として制作された浜松が舞台の「書道ガールズ青い青い空」を、浜松祭り開催期に上映。地元の映画制作を支援。
③ 木下恵介誕生日 特別上映会	12/5	12月5日の木下恵介誕生日を記念して特別上映会を実施。
④ 団体特別上映会	通年	市内小学校・各団体・浜松市施設めぐりの施設見学等の際に、生誕100年記念映像「天才と呼ばれたオトコ」を2Fアートホールにて特別上映し、木下作品と記念館の理解を深める。
⑤ 木下恵介作品 出張上映会	年6回程度	市内協働センターや老人福祉センター等へ出向き、上映会を開催。木下恵介記念館に来ることのできない方たちに木下作品に触れる機会を創出。
⑥ 木下恵介作品 ビデオ視聴	通年	館内視聴ブースを利用した、木下恵介映画作品の視聴。鮮明な画像で鑑賞してもらえるようVHSからDVDに変更。
(イ) コンサート事業		
① アートホール活用事業 「二十四の瞳」制作60年記念コンサート	年1回	「二十四の瞳」制作60年記念展との連動イベント。映画挿入歌の唱歌の数々を浜松在住の音楽家とともに楽しむ。

事業名	開催予定日	内容
(ウ) 講座等事業		
① 木下恵介生誕100年記念映画 「はじまりのみち」講演会及び上映会	年1回	生誕100年を記念して平成25年6月に公開された松竹映画「はじまりのみち」特別上映会及び映画関係者による講演会を開催。
② けいすけクラブの運営・催事	年4回程度	木下恵介ファンが集まり、講座や作品鑑賞、座談会等を通じて研究の深化を図る。
③ 栄町映画倶楽部の運営・催事	年10回程度	市民映画愛好家が木下恵介作品やジャンルを問わない映画を語り合い、交流を深める。
う 木下恵介ゆかりの資料の調査研究・保存・整理		
① 木下恵介関連資料及び寄贈物品の 収集・調査・研究・保存・整理	通年	木下恵介の浜松地域における活動記録収集等の資料調査や寄贈物品の受付・整理等。
② 木下恵介関連機関等との調整	通年	木下恵介に関連する映画関係者(木下組)・著作権者・遺族との交渉及び関連文化施設とのネットワーク構築。
え 建築家・中村與資平及び施設の紹介		
① 中村與資平関連資料及び寄贈物品の 収集・調査・研究・保存・整理	通年	中村與資平や建物に関する資料の公開と展示。
お 展示室の案内及び説明		
① 入館者や学習見学者への案内・説明	通年	入館者への展示室案内や、市内小中学校・各団体の施設見学等の随時受入れ。浜松市施設めぐり」等への協力。
か その他事業		
① 広報誌「栄町だより」の発行	年2回程度	旧浜松銀行協会や木下恵介記念館の施設・事業をPRすると共に地域の広報誌としての役割を務める。
② 企画展「二十四の瞳」制作60年記念展クイズ	企画展開催 期間中	企画展の会期に合わせて、企画展の内容に興味を持ってじっくり鑑賞してもらえるようクイズを実施。正解者には記念館オリジナルポストカードを進呈。
③ 子ども用クイズ	通年	来館した子ども(小学校高学年～中学生向き)の興味を喚起し、楽しんで勉強できるように子ども用クイズを実施。正解者には記念館オリジナルポストカードを進呈。
④ 自主出版 「KEISUKE～木下恵介記念館～」販売	通年	木下作品有識者7人の特別随筆集。あわせて木下恵介の49作品と関連作品を解説するほか、撮影風景等、貴重な写真と情報を掲載。(平成24年4月発行)
⑤ 上映会鑑賞カードの発行	随時	上映会や講座参加者に「映画鑑賞カード」を発行。鑑賞作品にスタンプを押し、個人の記録とするほか、違う映画作品も見たいくなるよう、再来館を促す。
⑥ 館内花の展示装飾	随時	玄関ロビーにて、企画展やシーズンプロモーション時(正月、クリスマス、七夕等)に、旧浜松銀行協会の雰囲気にあった花を展示装飾し、来館者を迎える。
⑦ 「浜松の日」イベント参加	6/1	「浜名湖花博2014」に合わせ、フラワーパークで開催される「浜松の日」のイベントに参加し、木下恵介生誕100年を記念して造られた「恵介の丘」や木下恵介記念館をPRする。

平成 26 年度収支予算の策定について

公益財団法人浜松市文化振興財団 平成 26 年度収支予算を次のとおり策定する。

公益財団法人浜松市文化振興財団
理事長 伊藤 修二

2 平成 26 年度 収支予算

【概要】

■公益目的事業の再編

3 つに区分し実施しております公益目的事業について、平成 26 年度からはひとつの事業として実施してまいります。これにより収支相償のための収支状況について多様な調整が可能となります。

■基本財産、特定資産及び運用財産の運用状況

基本財産、特定資産及び運用財産の運用益は、約 2,570 万円。高利回りとなっていた仕組債が償還となった後、国債・地方債・預金での運用に切り替えを図っておりますが、国債利回りは低水準となっており、運用益は減少しています。

平成 26 年度の利回りは約 0.85%、前年度予算比約 1,060 万円の減額となる計画です。

■浜松こども館、浜松市天竜壬生ホール

浜松こども館について、指定管理提案にあたって共同事業体となっている浜松まちなかマネジメント株式会社が運営主体となり、当財団においては必要経費(人件費等)を収受する形態へ変更します。

また浜松市天竜壬生ホールは平成 25 年度末をもって運営終了となります。

■利用料金収益等

施設利用料金収入は、アクティシティ浜松の大ホール舞台機構改修が終了し、前年度予算比で約 5,460 万円の増額となります。観覧料収益は浜松こども館での収益が皆減となりますが、浜松市楽器博物館ほかの施設についてはほぼ前年度予算並みを予定しています。

■各事業費規模及び当期経常増減額の計画

各事業とも収支相償を目指した予算となっております。事業費規模については、前述のとおり浜松こども館での費用減等により、前年度費約 1,990 万円の縮小の 26 億 3,990 万円、運用益の減少等により、全体では、約 940 万円の赤字となる計画です。

収支予算書(損益ベース)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	22,620	22,700	△ 80
基本財産運用益計	22,620	22,700	△ 80
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	2,964	323	2,641
特定資産運用益計	2,964	323	2,641
③ 事業収益			
入場料収益	123,384	102,829	20,555
チケット手数料収益	3,267	2,750	517
イベント関連収益	11,136	10,120	1,016
協賛金・共催事業収益	42,369	30,575	11,794
受取会費	12,068	12,732	△ 664
広告料収益	3,804	3,790	14
使用料収益	532	1,910	△ 1,378
手数料収益	10,436	13,040	△ 2,604
図書販売収益	390	200	190
売上収益	9,400	6,929	2,471
施設利用料金収益	727,906	673,319	54,587
観覧料収益	50,340	67,180	△ 16,840
事業収益計	995,032	925,374	69,658
④ 受取指定管理料			
受取指定管理料	1,381,390	1,499,122	△ 117,732
受取指定管理料計	1,381,390	1,499,122	△ 117,732
⑤ 受取受託金			
受取事業市受託金	77,413	108,009	△ 30,596
受取受託金計	77,413	108,009	△ 30,596
⑥ 受取補助金等			
受取民間補助金	4,200	2,900	1,300
受取補助金等計	4,200	2,900	1,300
⑦ 受取負担金			
受取事業市負担金	117,607	47,000	70,607
受取負担金計	117,607	47,000	70,607
⑧ 受取寄付金			
受取寄付金	2,000	0	2,000
受取事業基金振替額	25,779	35,380	△ 9,601
受取寄付金計	27,779	35,380	△ 7,601
⑨ 雑収益			
受取利息	165	13,300	△ 13,135
雑収益	1,250	1,199	51
雑収益計	1,415	14,499	△ 13,084
経常収益計	2,630,420	2,655,307	△ 24,887

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	3,615	3,615	0
給料手当	371,287	383,809	△ 12,522
臨時雇賃金	38,406	42,947	△ 4,541
退職給付費用	16,793	17,031	△ 238
福利厚生費	62,301	63,601	△ 1,300
交際費	50	100	△ 50
会議費	97	492	△ 395
懇談会費	7,102	3,897	3,205
旅費交通費	25,446	27,191	△ 1,745
通信運搬費	14,281	13,379	902
減価償却費	16,530	11,907	4,623
消耗什器備品費	2,806	2,986	△ 180
消耗品費	44,179	40,066	4,113
修繕費	33,854	35,563	△ 1,709
印刷製本費	38,839	34,091	4,748
燃料費	466	609	△ 143
光熱水料費	108,310	120,366	△ 12,056
使用料賃借料	46,512	43,005	3,507
保険料	4,863	5,844	△ 981
諸謝金	54,643	55,714	△ 1,071
租税公課	38,769	26,973	11,796
支払負担金	833,515	849,796	△ 16,281
支払助成金	11,391	9,976	1,415
委託費	753,792	758,729	△ 4,937
手数料	14,351	13,192	1,159
広告料	19,377	12,795	6,582
商品仕入	1,954	3,404	△ 1,450
支払利息	926	628	298
事業費計	2,564,455	2,581,706	△ 17,251
② 管理費			
役員報酬	2,409	2,409	0
給料手当	40,782	42,518	△ 1,736
臨時雇賃金	1,560	1,560	0
退職給付費用	2,617	3,189	△ 572
福利厚生費	7,208	7,433	△ 225
交際費	101	100	1
旅費交通費	661	650	11
通信運搬費	167	163	4
減価償却費	949	1,230	△ 281
消耗品費	422	493	△ 71
印刷製本費	540	258	282
使用料賃借料	1,451	578	873
保険料	570	570	0
諸謝金	206	200	6
租税公課	797	575	222
支払負担金	870	950	△ 80

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
委託費	13,854	12,963	891
手数料	130	126	4
支払利息	104	67	37
管理費計	75,398	76,032	△ 634
経常費用計	2,639,853	2,657,738	△ 17,885
当期経常増減額	△ 9,433	△ 2,431	△ 7,002
当期一般正味財産増減額	△ 9,433	△ 2,431	△ 7,002
一般正味財産期首残額	2,825,761	2,818,720	7,041
一般正味財産期末残額	2,816,328	2,816,289	39
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	223	140	83
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 26,002	△ 35,520	9,518
当期指定正味財産増減額	△ 25,779	△ 35,380	9,601
指定正味財産期首残高	180,144	210,323	△ 30,179
指定正味財産期末残高	154,365	174,943	△ 20,578
III 正味財産期末残高	2,970,693	2,991,232	△ 20,539

(注) 収支予算書は、「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

収支予算書内訳表（損益ベース）

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

（単位：千円）

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	11,310	0	11,310	0	22,620
基本財産運用益計	11,310	0	11,310	0	22,620
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	303	1	2,660	0	2,964
特定資産運用益計	303	1	2,660	0	2,964
③ 事業収益					
入場料収益	123,384	0	0	0	123,384
チケット手数料収益	3,267	0	0	0	3,267
イベント関連収益	11,136	0	0	0	11,136
協賛金・共催事業収益	42,369	0	0	0	42,369
受取会費	12,068	0	0	0	12,068
広告料収益	3,744	60	0	0	3,804
使用料収益	532	0	0	0	532
手数料収益	10,274	162	0	0	10,436
図書販売収益	390	0	0	0	390
売上収益	9,400	0	0	0	9,400
施設利用料金収益	704,218	24,570	0	882	727,906
観覧料収益	50,340	0	0	0	50,340
事業収益計	971,122	24,792	0	882	995,032
④ 受取指定管理料					
受取指定管理料	1,298,148	30,509	52,733	0	1,381,390
受取指定管理料計	1,298,148	30,509	52,733	0	1,381,390
⑤ 受取受託金					
受取事業市受託金	77,413	0	0	0	77,413
受取受託金計	77,413	0	0	0	77,413
⑥ 受取補助金等					
受取民間補助金	4,200	0	0	0	4,200
受取補助金等計	4,200	0	0	0	4,200
⑦ 受取負担金					
受取事業市負担金	117,607	0	0	0	117,607
受取負担金計	117,607	0	0	0	117,607
⑧ 受取寄付金					
受取寄付金	2,000	0	0	0	2,000
受取事業基金振替額	25,779	0	0	0	25,779
受取寄付金計	27,779	0	0	0	27,779
⑨ 雑収益					
受取利息	0	0	165	0	165
雑収益	1,225	25	0	0	1,250
雑収益計	1,225	25	165	0	1,415
経常収益計	2,509,107	55,327	66,868	882	2,630,420

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	3,564	51	0	0	3,615
給料手当	368,638	2,649	0	0	371,287
臨時雇賃金	38,175	231	0	0	38,406
退職給付費用	16,675	118	0	0	16,793
福利厚生費	61,870	431	0	0	62,301
交際費	50	0	0	0	50
会議費	97	0	0	0	97
懇談会費	7,102	0	0	0	7,102
旅費交通費	25,432	14	0	0	25,446
通信運搬費	14,118	163	0	0	14,281
減価償却費	15,863	667	0	0	16,530
消耗什器備品費	2,761	45	0	0	2,806
消耗品費	43,617	562	0	0	44,179
修繕費	33,400	454	0	0	33,854
印刷製本費	38,778	61	0	0	38,839
燃料費	457	9	0	0	466
光熱水料費	108,304	6	0	0	108,310
使用料賃借料	46,183	329	0	0	46,512
保険料	4,794	69	0	0	4,863
諸謝金	54,602	41	0	0	54,643
租税公課	38,092	677	0	0	38,769
支払負担金	800,137	33,378	0	0	833,515
支払助成金	11,391	0	0	0	11,391
委託費	738,579	15,213	0	0	753,792
手数料	14,252	99	0	0	14,351
広告料	19,353	24	0	0	19,377
商品仕入	1,954	0	0	0	1,954
支払利息	891	35	0	0	926
事業費計	2,509,129	55,326	0	0	2,564,455
② 管理費					
役員報酬	0	0	2,409	0	2,409
給料手当	0	0	40,782	0	40,782
臨時雇賃金	0	0	1,560	0	1,560
退職給付費用	0	0	2,617	0	2,617
福利厚生費	0	0	7,208	0	7,208
交際費	0	0	101	0	101
旅費交通費	0	0	661	0	661
通信運搬費	0	0	167	0	167
減価償却費	0	0	949	0	949
消耗品費	0	0	422	0	422
印刷製本費	0	0	540	0	540
使用料賃借料	0	0	2,333	882	1,451

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
保険料	0	0	570	0	570
諸謝金	0	0	206	0	206
租税公課	0	0	797	0	797
支払負担金	0	0	870	0	870
委託費	0	0	13,854	0	13,854
手数料	0	0	130	0	130
支払利息	0	0	104	0	104
管理費計	0	0	76,280	882	75,398
経常費用計	2,509,129	55,326	76,280	882	2,639,853
当期経常増減額	△ 22	1	△ 9,412	0	△ 9,433
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 22	1	△ 9,412	0	△ 9,433
一般正味財産期首残額	1,265,050	61,000	1,499,711	0	2,825,761
一般正味財産期末残額	1,265,028	61,001	1,490,299	0	2,816,328
II 指定正味財産増減の部					
① 特定資産運用益					
特定資産受取利息	223	0	0	0	223
② 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 26,002	0	0	0	△ 26,002
当期指定正味財産増減額	△ 25,779	0	0	0	△ 25,779
指定正味財産期首残高	180,144	0	0	0	180,144
指定正味財産期末残高	154,365	0	0	0	154,365
III 正味財産期末残高	1,419,393	61,001	1,490,299	0	2,970,693

資金調達及び設備投資の見込みについて

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込について

当期中における重要な設備投資(除去または売却を含む。)の予定はありません。